

# 文化研修部 活動報告書

那覇国際高校 PTA 文化研修部

「東御廻り（あがりうまーい）、琉球の祈り・巡礼の史跡巡り」研修を実施いたしました。

《開催日》 令和6年5月25日（土）

《研修日程》

8：45集合 那覇国際高校正門前に集合  
9：00出発 那覇国際高校  
9：20～13：00 園比屋武御嶽・32軍司令部・  
与那原御殿山・親川・斎場御嶽  
13：00～14：30 ランチタイム（ユインチホテル南城）  
14：30～16：00 ヤハラツカサ・浜川御嶽・受水走水・玉城グスク  
17：00頃到着解散 那覇国際高校

《参加人数》36名（講師含め37名）

**【講師】 琉球歴史研究家 賀数 仁然 氏**

《活動報告》

梅雨入りし、時折恵みの雨と、太陽が交互に顔を出すなか、賀数氏を講師に迎え文化研修部主催のツアー「東御廻り（あがりうまーい）、琉球の祈り・巡礼の史跡巡り」研修を実施いたしました。

東御廻りとは、琉球の創造神・アマミキヨ（読み方は中山世鑑の記述に基づく）にゆかりのある聖地を巡拝する行事です。琉球の時代には、王と間得大君が豊穡を祈って廻った神事で、やがて門中単位で行われるようになり、そして農民へと広がりました。作物が豊かであることが、その王が神に選ばれた証とされたことから、東御廻りには王の威信をかけ、莫大な費用と設備投資をもって行われていたそうです。

王とともに東御廻りを行った、間得大君の誕生の儀式が行われた地である斎場御嶽では、当時ノロたちによってうたわれた歌の貴重な音源を賀数氏から聴かせていただくことができ、小雨が降り、霧が立ち込める神秘的な雰囲気の中、一同、厳かな雰囲気

気に包まれました。

稲作発祥の地や、東御廻り最後の「玉城城跡」では、天文学とグスクのつながりに  
についても興味深いお話を聞くことができ、“うちなーんちゅ”がどこから来たのか、に  
思いをはせ、琉球の歴史にさらに興味が深まりました。神話の時代までタイムスリッ  
プしたような、非常に濃い内容でありながらも、賀数氏のユーモアに富んだ解説に参  
加者からは笑いが絶えず、笑顔あふれる研修となりました。また、与那原親川での若  
返りの儀式ですっかり身も心も若返ったこともあってか、天候により足元が心配され  
る個所も少なくないにも関わらず、誰一人けがもなく、元気に研修を終えることがで  
きました。たくさん歩き、健康を増進しながら参加者間の交流も深めることができ  
た、大変有意義な研修になったと思います。

講師の賀数氏をはじめ、ご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

#### 《活動の様子》







以上